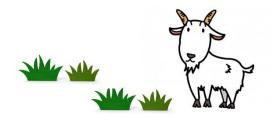
# ヤギの性質を活かした囲い込み戦略と町独自の条例でノヤギ「〇」に 一東京都八丈町一

- 東京都八丈島では食肉・乳用および堆肥利用のために導入した飼養ヤギが野生化しノヤギとなり、牧草や農作物などを食害。有識者や猟友会の協力を得ながら、拡散防止網やくくり罠の設置により島内ノヤギを駆除。
- 島内の飼養ヤギについて、「八丈町飼養ヤギの野生化防止に関する条例」を制定し、再発防止。

# 八丈町の課題

- ○飼養ヤギのノヤギ化
  - ・戦後の食糧難時代に、島外から家畜 として導入されたヤギが、食文化と して定着
  - ・飼養中に逃走したヤギが野生化



- 〇ノヤギの増加
  - ・ヤギは繁殖力が旺盛なので、急増
- Oノヤギによる食害
  - ・町営牧場の牛用牧草を食い荒らす
  - ・主幹作物の切葉が食べられ品質低下
  - アシタバが食べられ収量減





《町営牧場に出没するノヤギの群や食害を受けた切葉》

## 主な対策

〇生息状況と被害状況の調査



〇拡散防止網の設置 (八丈富士)

ノヤギが牧草を食害。被害地域を囲むように「第1拡散防止網」を設置。その上部に「第2拡散防止網」を設置し、エリアを分断網で囲い込み、猟友会が捕獲。第2拡散防止網は鋼製化。





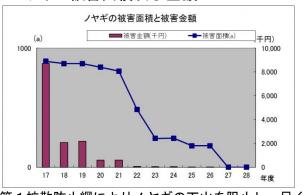
第1拡散防止網

第2拡散防止網

- 〇足くくり罠の設置 (八丈富士・三原山) 猟友会の協力により、ノヤギの出没ヵ所に足くくり 罠を設置し捕獲。
- ○八丈町飼養ヤギの野生化防止に関する条例 飼養ヤギ及び出生した場合の登録申請、登録番号タグ 及び首輪の装着を義務づけた。

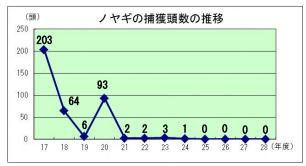
## 対策の効果

### 〇ノヤギの被害面積及び金額



第1拡散防止網によりノヤギの下山を阻止し、足くくり関も併用して捕獲が進み、平成27、28年度の被害金額はゼロ。

#### ○ノヤギの捕獲実績



第1及び第2拡散防止網と分断網で囲い込み、確実に捕獲することで、平成25年度以降はゼロ、28年度 以降は目撃、痕跡ともにゼロ。

## 〇条例で再発防止

飼養ヤギの適正管理でノヤギ化防止。

# ヤギの性質を活かした囲い込み戦略と町独自の条例でノヤギ「〇」に 一東京都八丈町―

#### きっかけ

- ・飼養ヤギがノヤギ化し、急激に繁殖
- ・牧草やフェニックス・ロベレニー(切葉)、アシタバに被害が発生

#### Step1(H20) 協議会と支援チーム設立

- 〇「八丈町ノヤギ対策協議会」を 設置し、町、農協、都関係機関 の連携を図る。
- ○協議会メンバーで、小笠原村父 島のノヤギ対策を視察。

## Step2(H20~)本格的な取組開始

- 〇島しょ地域の獣害対策を支援する ため開始された「東京都島しょ農 作物獣害防止緊急対策事業活用。
- 〇野生動物の行動に詳しい業者によ る生息状況を実施。

#### Step3(H20~)囲い込み戦略実施

- 〇八丈富士の牧草地域に多数のノヤ ギが集合することが判明。
- 〇下山しないように「第1拡散防止網」 を設置し囲い込み。

#### ◆それ以前は…

都の「農作物獣害防止対策事業」を 利用し、猟友会の協力を得て、有害 鳥獣の捕獲実施(H17までに534頭捕獲)





### ◆町独自として…

「八丈町飼養ヤギの野生化防止に 関する条例」を制定(H21)し、

- 飼養ヤギの登録申請
- ・登録番号を表示したタグ及び 首輪(交付)の装着
- ・子ヤギが生まれた時は、 遅滞なく登録申請
- の義務付けを実施

取組を経

### Step4 (H21~) 撲滅への努力・問題の発生

- 〇「第1拡散防止網」で囲い込まれたノヤギを、曜日 を決めて、猟友会がエリア内のノヤギを捕獲。
- 〇「分断網」及び「第2拡散防止網」を利用して、小規模に区切ったエリアごとに順次ノヤギを捕獲(H23までに99頭を捕獲)。
- 〇頭数の少なくなった八丈富士エリアや三原山に、自動撮影カメラの設置やノヤギ探索犬による調査、囮ヤギトラップを設置し、全面駆除最終段階へ。

#### 【問題発生!】

支柱に用いる植生が、低木しかない標高域に設置した 「第2拡散防止網」の高さでは、跳躍力に長けたノヤギ の完全な駆除が不可能!

# 将来に向けて

- 八丈島ではヤギの飼養が普及しており、今後 も島内に飼養ヤギは多数存在する。
- 飼養ヤギをノヤギ化させないことが、この事業 の本当の意味での「成功」である。
- 島民一人一人が自覚し、飼養ヤギを正しく管理し、地域特産物や美しい自然環境を守り、 後世に伝えてゆく。

# Step6 (H29) ノヤギ「ö」

- H28、29の2年間、ノヤギの糞や食害 の痕跡無く、目撃も0件
- H29の事業終了とともに「ノヤギ『O』」 となる

## Step5 (H25~) 「第2拡散防止網」の鋼製化

- ノヤギが飛び越えられず、高さが充分で強固 な拡散防止網に置き換え。
- 〇 分断網等を撤去し、自然状態復元。